

科学・技術・人との出会い 「女子中高生夏の学校」

リレーエッセイ第7回は、女性の理工系進路選択を促進するための取組である「女子中高生の夏の学校」について御紹介します。

2020年12月25日に「第5次男女共同参画基本計画」が閣議決定されました。この基本計画は、男女共同参画社会基本法に基づき、施策の総合的かつ計画的推進を図るため、2030年度末までの「基本認識」並びに2025年度末までを見通した「施策の基本的方向」及び「具体的な取組」を定めるものです。

その第4分野「科学技術・学術における男女共同参画の推進」の基本認識では、計画的・長期的に研究職・技術職に進む女性を増やすため、女子中高生、保護者、教員等における科学技術系の進路への興味関心や理解を全国的に向上させるための取組により女性の理工系進路選択を促進し、次代を担う女性の科学技術人材を育成することの重要性が指摘されています。2019年のデータでは、大学（学部）の理工系の学生に占める女性の割合は、理学部 27.9%、工学部 15.4%となっており、これを毎年度、前年度以上にすることが、成果目標とされています。そして、施策の基本的方向は、「大学、研究機関、学術団体、企業等と連携し、女子児童・生徒、保護者及び教員に対して、理工系の進路選択がどのようなキャリアパスにつながるかについて十分な情報や体験を提供する」と示されています。

今回、御紹介する「女子中高生の夏の学校」は、2005年に国立女性教育会館（以下、NWEC）で実施された「女子高生夏の学校」（以下、夏学）を2007年から参加者を中学生まで拡大し、2泊3日の合宿研修「女子中高生夏の学校」として毎夏開催してきたものです。参加者である女子中高生にとっては、理工系への進学やその先のキャリアをめざす仲間たちとの出会いの場です。普段の学校生活の中では少数派でも、この夏学では全国から集まった大勢の仲間や先輩と交流もでき、最新で高度



2016年度「女子中高生夏の学校 2016～科学・技術・人との出会い～」の様子

な研究の一端に触れることができる、貴重な機会となっています。夏学を開始してから、この約15年の間には、参加者だった中高校生が、その後、大学生になり、学生TA（ティーチングアシスタント）として後輩たちの合宿生活や実験をサポートし、社会人となってからは実行委員として企画や運営に関わり、キャリア講演にも講師として登壇するなど、夏学を中心とした人材の循環が生まれています。

さらに、この企画・運営には、男女共同参画学協会連絡会*や企業・NPOなどからも多くの研究者や教員、社会人が実行委員として参画。プログラムの企画では事前に何度も打合せを重ね、当日はNVECに泊まり込み、夜遅くまで実験の準備や参加者の相談に応じ、夏学が終了した後も、参加者のその後の活動を見守るなど、その活動は夏だけにとどまりません。一口に「理工系」といっても様々な分野からの多様で熱意を持った先輩たちが、この夏学の循環の輪をサポートしています。

また、第3期科学技術基本計画に明記された「女性科学技術人材の育成、確保、活躍の促進」を実現する政策の一つとして、2006年に文部科学省が「女子中高生の理系進路選択支援事業（2009年から科学技術振興機構（JST）に移管）」を開始し、夏学はこの助成金を受け、NVECの主催事業として継続されてきました。このような状況の中、2018年よりJSTの助成が終了したため、プログラムを主要なものだけに絞り、運営費用をNVEC、学協会、企業の支援でまかなって実施することとなりました。

この夏学を今後も継続させたいという要望に応え、これまでの実行委員を中心にNPO法人女子中高生理工系キャリアパスプロジェクトが設立され、2020年度からは、このキャリアパスプロジェクトが主催団体となり、NVECとの共催で実施することとなりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症により、2020年度及び2021年度については、NVECでの宿泊研修を断念。キャリアパスプロジェクトが開発したオンライン研修を実施することとなりました。本年度は、キャリア講演、学生企画「キャリアプランニング」、ポスターとキャリア相談「研究者・技術者と話そう」、実験「ミニ科学者になろう」がラインアップされ、全国から126名の参加者を得て、盛況のうちに終了しました。

<2021年度に実施したオンラインプログラム>

| プログラム名 | 目的・内容 |
|--------------------------|--|
| 「キャリア講演」 | 理工系を選択した方に現在の生活や仕事のことなど理工系進路の魅力について話を聞き、将来理工系で学ぶこと、働くことの意義や理工系進路の多様性について、理解を深めるプログラム。 |
| 学生企画「キャリアプランニング」 | 女子大学生・大学院生と一緒に自分の過去・現在を振り返り、将来について考え、そのキャリアプランを他の中高生と共有し合い、多様な選択肢を学び、自分のキャリアプランを深く考えるプログラム。 |
| ポスターとキャリア相談「研究者・技術者と話そう」 | 夏学の協力団体で様々な理工系キャリアを歩んでいる方によるポスター展示と、様々な理工系分野で活躍する方々に最先端の技術や各分野で必要となる基礎知識やその分野で活動する方がどのようなライフスタイルをとっているのかなどについて話を聞くプログラム。 |
| 実験「ミニ科学者になろう」 | 理工系の専門分野の研究者・技術者の指導の下、オンライン形式で実際に、実験・実習に取り組むプログラム。 |

*学協会間での連携協力をいながら、科学技術の分野において、女性と男性が共に個性と能力を発揮できる環境づくりとネットワークづくりを行い、社会に貢献することを目的とする。

（濱 由樹／独立行政法人国立女性教育会館 事業課長）